

皆様には日頃からご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

当協会は、本年度も事業計画に基づき、成長ホルモン治療関係、研究助成事業およびヨウ素関連調査研究事業等を着実にやっていく所存であります。本年度も格別のご指導ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

第 18 回理事会開催

平成 29 年 3 月 2 日(木)午後 2 時より、理事 13 名出席のもと開催した。

第 16 回評議員会開催

平成 29 年 3 月 9 日(木)午後 2 時より、評議員 15 名出席のもと開催した。

上記両会議とも、平成 29 年度事業計画および平成 29 年度収支予算について、いずれも原案通り承認された。

FGHR (Forum on Growth Hormone Research) 臨床研究助成金交付者決定

公募したところ(1月31日締切)全国より7件の応募がありFGHR臨床研究委員会で審査の結果、次の5名に交付が決定。

宇都宮朱里 広島大学病院小児科
島彦仁 国立成育医療研究センター研究所
分子内分泌研究部
福岡秀規 神戸大学医学部附属病院
糖尿病・内分泌内科
水野裕介 慶應義塾大学医学部
小児科学教室

三善陽子 大阪大学大学院医学系研究科
小児科学

平成 29 年度研究助成金・自由課題研究 募集について

●自由課題研究募集

- 研究助成の対象の研究分野
成長科学に関する研究であって次の研究分野のいずれかに該当するもの。
(1) 身体の成長・発達に関する基礎的・臨床的研究
(2) 成長ホルモン又は成長ホルモンの関連因子に関する基礎的・臨床的研究
(3) 心の発達に関する研究
- 研究課題:上記の研究分野に関し、応募の研究者が提案する課題
- 助成金額:1件につき50万円
- 応募方法:
(1) 当協会所定の申請用紙に記載のうえ、6月30日迄(郵送必着)に提出して下さい。
(2) 1施設からの応募は1題に絞って下さい。
(3) 外国での研究については、応募をご遠慮下さい。

★ 上記研究助成金は、応募者が所属する研究施設等の間接経費・一般管理費等は助成の対象になりません。

★ 上記募集の選考結果は、9月上旬に応募者に通知します。なお、申請用紙は、当協会ウェブサイトよりダウンロードできます。

<http://www.fgs.or.jp/>

成長科学協会の研究業績

国際的な小児内分泌の総説雑誌である Pediatric Endocrine Reviews (編集委員長 Zvi Laron、副編集委員長 田中敏章) の supplement として「Achievements of the Foundation for Growth Science in Japan (日本の成長科学協会の研究業績)」が発行されました。成長ホルモン治療研究専門委員会、GH・関連因子検討専門委

員会、アドバース・イベント調査専門委員会、心の発達研究委員会、ヨウ素関連調査研究委員会のこれまでの研究成果が、総説としてまとめられています。

寄附ご芳名

ニュース 106 号以後、次の方々からご寄附がありました。貴重なご寄附、誠に有難うございました。

北海道こんぶ消費拡大協議会 殿
株式会社資源 殿
日宝化学 株式会社 殿
関東天然瓦斯開発 株式会社 殿
JCRファーマ 株式会社 殿
国際石油開発帝石 株式会社 殿
(順不同)

第30回公開シンポジウム開催

テーマ『『いたいいたいのとんでいけー』～子どもの痛みの意味を考える～』

〈日時〉平成 29 年 6 月 10 日(土) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

〈場所〉UDX シアター/秋葉原 UDX4 階 (JR 秋葉原駅電気街口徒歩 2 分)

〈演者〉坂本 真樹 (国立大学法人電気通信大学情報理工学研究所情報学専攻 教授)

“こどもが使う痛みの表現”

〈演者〉橋本 和秀(国立大学法人九州大学大学院人間環境学研究院 准教授)

“他者の痛みを感じるこころの発達とその基盤：共感性を手掛かりに”

〈演者〉加藤 実 (日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野 診療教授、

日本大学医学部附属板橋病院 痛みセンター長)

“こどもの痛みについてもう一步踏みこんで考える”

参加ご希望の方は、件名「第 30 回シンポジウム参加申込み」とし、お名前、人数、連絡先を明記し、FAX またはメールにてお申し込み下さい。(入場無料 問合せ TEL: 03-5805-5370)

FAX: 03-5805-5371 メールアドレス: kimoto@fgs.or.jp